



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 2405 URL <http://www.fuiikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成26年5月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	1,864	—	252	—	201	—	120	—
25年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 120百万円 (—%) 25年6月期第3四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	36.98	36.71
25年6月期第3四半期	—	—

(注) 平成26年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年6月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第3四半期	3,450	1,618	46.7	424.65
25年6月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 1,610百万円 25年6月期 100百万円

(注) 平成26年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年6月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,313	—	300	—	260	—	140	—	36.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動につきましては四半期決算短信(添付資料)5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期3Q	3,791,900 株	25年6月期	3,181,600 株
26年6月期3Q	78 株	25年6月期	78 株
26年6月期3Q	3,251,355 株	25年6月期3Q	3,112,633 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、当第3四半期決算より連結決算へ移行しておりますが、当第3四半期連結累計期間において連結子会社の事業並びに営業実績は発生しておりませんので、当第3四半期連結累計期間の業績に対する前年同期比等の比較分析については、前第3四半期連結累計期間に代えて、前第3四半期累計期間と比較して記載しております。

当第3四半期連結累計期間における取り組みは、受入数量の増加に対応した場内作業の効率化を進めることにより売上高の拡大に注力してまいりました。搬入車両の増加に対応して営業部と場内受付の連携を強化することにより円滑な受入体制の構築に努めてまいりました。建設系リサイクル事業は、非建設系廃棄物の受入強化に加え、消費税の改定に伴う新築戸建住宅の駆け込み需要等により、解体廃棄物及び新築廃棄物の受入数量が大幅に増加しております。建設系リサイクル事業、食品系リサイクル事業、解体白蟻工事の全てにおいて、売上高は前年同期比を上回っており、第3四半期末であります3月度の提出会社の売上高は過去最高の246百万円となりました。今期も前期に引き続き、第3四半期末までの9ヶ月の月次売上高は各月ともに前年同期を上回っております。

また、平成25年12月の取締役会で決議しました岩手県一戸町で計画を進めております新規バイオマス発電事業につきましては、株式会社エナリスとの合併により子会社及び孫会社の設立登記が完了し、燃料となる木材調達に関する協議、機械の選定を進めるとともに補助金の交付申請を行い、事業化に向けた具体的な取り組みを進めてまいりました。当該子会社及び孫会社の設立により、当第3四半期決算より連結会計に移行しております。

これらの結果、売上高は1,864百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

売上原価は、焼却施設の改修工事を第3四半期に実施しましたが、社内メンテナンス体制の強化により、維持管理費が計画比で41百万円、前年同期比で17百万円減少しております。また、場内で使用しております投入用重機等をリースから購入に変更したため、機械リース費が計画比で11百万円、前年同期比で12百万円減少しております。一方、受入数量の増加にともない外注費用、埋立処分費用が前年同期比及び計画比で増加するとともに業績賞与引当金等を計上した結果、1,439百万円（前年同期比14.5%増）となり、計画比でも5.9%増加しております。売上総利益は、売上高の増加により、424百万円（前年同期比21.2%増）、計画比で19.9%増となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期と比較して、人件費、支払手数料、委託手数料等が増加したため、前年同期比14.1%増の171百万円となりました。計画比では営業強化に伴う人件費、社員研修等に伴う支払手数料及び委託手数料等が16百万円増加しております。営業利益は252百万円（前年同期比26.5%増）、売上高営業利益率は受入体制の効率化等により前年同期から1.2%向上し、13.6%となりました。経常利益は、私募債及び新株発行にともなう営業外費用等が24百万円発生しておりますが、売上高の増加により201百万円（前年同期比32.3%増）、四半期純利益は120百万円（前年同期比45.6%増）となり、各利益ともに前年同期を上回っております。

当第3四半期連結累計期間の業績数値並びに前年同期比（%）は以下の通りであります。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期連結累計期間	1,864	15.9	252	26.5	201	32.2	120	45.6
25年6月期第3四半期累計期間	1,608	16.8	199	398.6	152	—	82	—

セグメントの業績は次の通りであります。

①建設系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 累計期間	前年同期比	計画	計画比
売上高	1,518	1,305	212	1,361	156
売上原価	1,112	983	128	1,055	57
売上総利益	405	322	83	306	98

建設系リサイクル事業は、受入数量の増加に対応し、円滑な受入体制の構築により、収益の維持向上に努めてまいりました。焼却施設の売上高は、消費増税の影響等により、受入数量が増加するとともに受入平均単価も向上しており、前年同期比27.7%増加しております。発電施設は、受入平均単価が下落しており、受入売上高は前年同期比で8.1%減少しておりますが、売電数量が増加するとともに売電単価も向上し、売電売上は前年同期比38.5%増加しております。施設売上高は前年同期比2.8%増加となりました。その他施設の売上高も受入数量の安定化等により、収集運搬業務を含め前年同期比で増加しております。

売上原価は、維持管理費及び機械リース費が減少しておりますが、人件費、電気代、埋立処分費用等が前年同期比及び計画比で増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,518百万円（前年同期比16.2%増）、売上原価1,112百万円（前年同期比13.1%増）となり、売上総利益は405百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

②食品系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 累計期間	前年同期比	計画	計画比
売上高	201	195	6	207	△5
売上原価	186	167	18	167	19
売上総利益	15	27	△12	39	△24

食品系リサイクル事業は、第2四半期に引き続き液状化飼料の販売拡大とともに原料となる食品循環資源の受入数量の拡大に努めてまいりました。第2四半期までの6ヶ月間は販売数量が順調に増加しておりましたが、平成26年2月の大雪の影響等により販売先の肥育頭数が減少しているため、第3四半期であります平成26年1月から3月の販売数量は第2四半期比で若干減少しております。再資源化センターでの受入数量は第2四半期累計で、前年同期比10%減でありましたが、第3四半期累計で2.5%減まで回復しております。液状化飼料の販売売上の増加に加え、鉾田ファームの販売数量、販売単価も向上しております。

売上原価は人件費及び飼料販売にともなう委託手数料が増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は201百万円（前年同期比3.2%増）、売上原価は186百万円（前年同期比11.2%増）となり、売上総利益は15百万円（前年同期比45.5%減）となりました。

③白蟻解体工事

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 累計期間	前年同期比	計画	計画比
売上高	144	106	37	144	△0
売上原価	140	106	34	136	3
売上総利益	4	0	3	8	△4

白蟻解体工事は、解体工事が取引先の増加等により、工事件数は順調に推移しております。しかしながら、人件費、車両費、重機費用等の増加により、売上総利益は4百万円の損失となりました。白蟻工事は既存工事の件数が増加したことにより、前年同期比及び計画比で売上高、売上総利益が増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は144百万円（前年同期比35.2%増）、売上原価は140百万円（前年同期比32.2%増）、売上総利益は4百万円（前年同期比509.9%増）となりました。

④その他

平成26年1月に設立した株式会社一戸フォレストパワー及び株式会社一戸森林資源を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を新たに追加しております。

なお、当第3四半期連結累計期間においては、平成28年2月に事業開始予定の岩手県一戸町木質バイオマス発電事業の準備費用等を含んでおりますが売上高はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当社は、当第3四半期決算より連結決算へ移行しておりますが、当第3四半期連結累計期間において連結子会社の事業並びに営業実績は発生しておりませんので、当第3四半期連結累計期間の業績に対する前年同期比等の比較分析については、前連結会計年度に代えて、前事業年度末と比較して記載しております。

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ468百万円増加し、3,450百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、新株発行及び短期借入等により現金及び預金が591百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ590百万円増加し、1,265百万円となりました。

固定資産については、有形固定資産が減価償却等により177百万円減少しておりますが、機械、車両等の取得により、前事業年度末に比べて109百万円減少し、2,185百万円となりました。

流動負債については、買掛金が11百万円、未払法人税及び未払消費税が46百万円、1年以内返済長期借入金が109百万円減少しておりますが、リファイナンスの実施により、1年以内償還予定の社債が98百万円、短期借入金が149百万円等が増加したことにより、前事業年度末に比べ46百万円増加し、716百万円となりました。

固定負債については借入金の返済等により、前事業年度末に比べ43百万円減少し、1,115百万円となりました。

純資産については、新株発行及び四半期純利益の計上等により、前事業年度末に比べ465百万円増加し、1,618百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の売上高が堅調に推移しており、月次での売上高も平成26年3月は過去最高額を計上しております。各施設の稼働率も順調に推移しており、効率的な受け入れ体制の強化に努めてまいります。また、日常の定期点検を強化するため、専属のメンテナンス人員を配置することで計画的な修繕を進めております。また、営業力の強化により、食品リサイクル事業の受入数量拡大を目指し、需要が拡大しております液状化飼料の販売増加に努めてまいります。

売上原価は費目ごとの増減とともに変動費用は増加しておりますが、概ね計画通り推移しておりますので、原価率の改善により、売上総利益、営業利益が堅調に推移しております。施設の保守点検に伴う稼働状況等、売上高の増減及び維持管理費の発生等による業績の変動要因もありますが、現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 累計期間(注)	前年同期比	計画	計画比
売上高	1,864	1,608	255	1,713	150
売上原価	1,439	1,257	181	1,359	80
売上総利益	424	350	74	354	70
販売管理費	171	150	21	150	21
営業利益	252	199	52	204	48

(注) 当社は、当第3四半期決算より連結決算へ移行しておりますが、当第3四半期連結累計期間において連結子会社の事業並びに営業実績は発生しておりませんので当第3四半期連結累計期間の業績に対する前年同期比等の比較分析については、前第3四半期連結累計期間に代えて、前第3四半期累計期間と比較して記載しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結の範囲の重要な変更

平成26年1月16日付けで提出会社である当社65%、株式会社エナリス35%出資による当社子会社の株式会社一戸フォレストパワー（発電事業）を平成26年1月に設立し、さらに当該子会社100%出資による当社孫会社の株式会社一戸森林資源（バイオマス燃料製造事業）を同月設立したことから、当該子会社及び孫会社を当第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、当該子会社及び孫会社は平成28年2月に事業開始予定の岩手県一戸町木質バイオマス発電事業の準備中でありますので、売上高はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	878,221
受取手形及び売掛金	304,680
たな卸資産	26,768
その他	58,170
貸倒引当金	△2,186
流動資産合計	1,265,654
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	1,842,614
減価償却累計額	△798,912
建物及び構築物(純額)	1,043,702
機械装置及び運搬具	2,741,184
減価償却累計額	△1,884,331
機械装置及び運搬具(純額)	856,853
土地	231,995
建設仮勘定	4,864
その他	47,490
減価償却累計額	△39,069
その他(純額)	8,421
有形固定資産合計	2,145,837
無形固定資産	12,500
投資その他の資産	
投資その他の資産	28,423
貸倒引当金	△1,747
投資その他の資産合計	26,675
固定資産合計	2,185,013
資産合計	3,450,667
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	184,232
短期借入金	149,960
1年内返済予定の長期借入金	90,912
1年内償還予定の社債	98,000
未払法人税等	32,589
賞与引当金	51,718
その他	108,976
流動負債合計	716,389
固定負債	
社債	553,000
長期借入金	423,748
その他	138,530
固定負債合計	1,115,278
負債合計	1,831,667

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成26年3月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	474,947
資本剰余金	595,427
利益剰余金	539,869
自己株式	△35
株主資本合計	1,610,210
新株予約権	1,803
少数株主持分	6,986
純資産合計	1,618,999
負債純資産合計	3,450,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
売上高	1,864,056
売上原価	1,439,346
売上総利益	424,710
販売費及び一般管理費	171,799
営業利益	252,911
営業外収益	
受取利息	48
受取家賃	5,850
その他	2,202
営業外収益合計	8,100
営業外費用	
支払利息	20,906
社債発行費	17,901
その他	20,462
営業外費用合計	59,270
経常利益	201,741
特別利益	
固定資産売却益	4,403
特別利益合計	4,403
特別損失	
固定資産売却損	42
固定資産除却損	1,690
特別損失合計	1,732
税金等調整前四半期純利益	204,411
法人税、住民税及び事業税	58,690
法人税等調整額	25,509
法人税等合計	84,200
少数株主損益調整前四半期純利益	120,211
少数株主損失(△)	△13
四半期純利益	120,225

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	120,211
四半期包括利益	120,211
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	120,225
少数株主に係る四半期包括利益	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年3月26日を払込期日とする公募による新株式発行を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が177,714千円、資本準備金が177,714千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が474,947千円、資本剰余金が595,427千円となっております。